



The Allure of Superhuman Strength

2024年11月16日(土) - 2025年1月19日(日)

生涯で何度も名前を変えた北斎が「葛飾北斎」の名前を用い始めた40代後半、主に活躍していたのが読本挿絵の分野です。様々な怪力の人物は古今東西の物語に登場しますが、江戸の読本の世界でも力持ち達が驚くべき怪力を発揮して物語を力強く彩りました。北斎は、登場人物たちの怪力を挿絵の中で迫力満点に描いています。

また、70代後半の北斎は、『和漢絵本魁』やその続編『絵本武蔵鑑』など武者絵の絵手本を出版します。それらの中で北斎は「すべて勢ひを画んには風流古雅をはぶき俗意にして画く」と迫力ある人物の描き方について自身の画法を説明しています。

本展では、北斎の版本作品を中心にこういった怪力の表現に注目します。風景画や美人画だけではなく北斎の迫力ある人物表現の魅力をお楽しみください。

見どころ

1. パワフルなストーリーとその表現

人食い虎を退治したり、弓矢で大きな岩を砕いたり、怪力の登場人物たちのエピソードはいつも豪快です。読本の世界のパワフルなストーリーは、北斎の挿絵と共鳴しながら江戸の読者を魅了しました。



『絵本漢楚軍談』初輯巻之三より「黒龍馬と化して里人を悩ませ」



『椿説弓張月』後編巻之一より「為朝荒磯に船を陸へ遣る」



『新編水滸画伝』巻之二十一より「武松景陽岡上に大虎を撃つ」

お問い合わせ先

一般財団法人 北斎館（広報：飯塚）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: pr@hokusai-kan.com



hokusai-kan.com



| 見どころ |

2. 北斎流、迫力ある人の描き方

70代の北斎は『和漢絵本魁』など武者絵の絵手本を発表しますが、その中で「すべて勢いを画んには風流古雅をはぶき俗意にして画く」（『絵本武蔵鐙』）と自身の画法を説明しています。本展では読本挿絵だけでなく、こういった絵手本類のからも、怪力の表現をご紹介します。



『和漢絵本魁』より「樊噲鉄門を破」



『北斎漫画』九編より「近江国貝津ノ里傀儡女金子カ力量」



『北越奇談』巻之五より「行光寺の住僧両牛の争ひを止む」

お問い合わせ先

一般財団法人 北斎館（広報：飯塚）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: pr@hokusai-kan.com



hokusai-kan.com



| 関連イベント | 学芸員によるギャラリートーク

開催日：11月23日(土)、12月14日(土)、1月11日(土)

時間：14時～

参加費：無料（要入館券）

| 開催概要 |

会期：2024年11月16日(土)～2025年1月19日(日)

会場：北斎館（長野県上高井郡小布施町小布施485）

開館時間：午前9時～午後5時 ※ご入館受付は閉館30分前まで

※1月1日は時間短縮開館 午前10時～午後3時まで

休館日：12月31日

入館料：大人1,000円、高校生500円、小中学生300円、小学生未満 無料

北斎館について

葛飾北斎が描いた肉筆画60余点を収蔵、季節ごとの企画展で展示し、80歳を超えた晩年に信州小布施で描いた東町・上町の祭屋台天井絵「龍」「鳳凰」、「男浪」「女浪」は、常設展示されています。ご来館の皆様には、ワンフロアで映像ホール、第一・二展示室（企画展示室）、第三展示室（肉筆展示室）、第四展示室（祭屋台展示室）をご観覧いただくことができます。ぜひこの機会にご来館ください。



北斎館外観



祭屋台展示室

お問い合わせ先

一般財団法人 北斎館（広報：飯塚）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: pr@hokusai-kan.com



hokusai-kan.com

